

水難事故を未然に防止しよう

7/4 松崎小学校

海に親しむ機会が増える夏休みを前に水難事故を未然に防止するための講習として、坂出海上保安署から講師を招いて、水上安全講習会が行われました。児童は、服を着たままプールに入り、身動きが取りにくいことを体験。続いて2リットルのペットボトルを使って浮かぶ方法を学びました。



◀プールサイドではAEDの講習も実施しました



▲2リットルのペットボトルを抱えて上手にプールに浮かびます

大阪市中心卸売市場でトップセールス

7/5 大阪市中心卸売市場

山下市長、ぶどう生産者代表たちが大阪に出向き、シャインマスカットやピオーネなどの「三豊のぶどう」をアピールしました。山下市長が同市場を訪れるのは、今回が初めてで、市がぶどう生産者とトップセールスを行ったのは、平成27年以来、3年ぶりとなります。

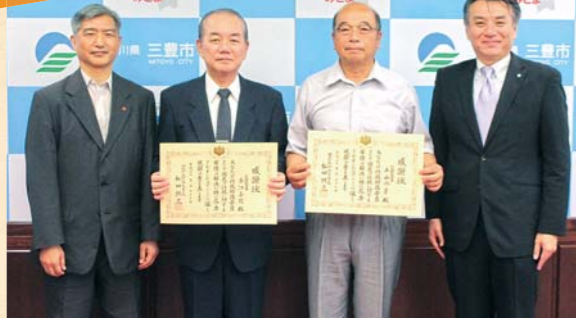


連携を深め、災害に備える

6/22 財田川河川敷

三豊市建設業協会が毎年実施する防災訓練。今年は市内から約200人が参加し、土のう作りなどを行いました。土のう作りでは町ごとに7つのグループに分かれ、約15分で1,400袋の土のうを完成させました。この土のうは、災害時に備えるため、各支所に運ばれました。

おめでとうございます



行政相談委員に感謝状を贈呈

6/18 三豊市役所

行政相談委員は、総務大臣から委嘱された民間有識者で、住民の身近な相談相手として活動しています。このたび、永江喜明さん(三野町)と土山修身さん(仁尾町)がこれまでの行政相談委員活動が評価され、四国行政評価支局長感謝状が贈呈されました。山下市長は、日頃の委員活動について両委員へ感謝の意を伝えました。

「みどりの愛護」功労者表彰を受賞

6/19 三豊市役所

父母ヶ浜の海岸清掃に取り組む「ちちぶの会」が、緑化推進活動の模範として評価され、国土交通大臣より表彰を受けました。会長の鴨田隆司さんは、受賞の感想を「会として、とても嬉しく感じています。22年間続けてきた結果ですね。ますます今後の励みになります」と話してくれました。



▲グループごとに分かれて、理想の学校図書館について意見を出し合いました



▶講師は香川大学地域連携・生涯学習センターの山本珠美先生。「良い意見が出ていますね！」

子どもたちが考える「こんな学校図書館がいいな」

7/4 龍岡小学校

学校図書館について考えるワークショップが行われ、5年生29人が参加しました。子どもたちは、「こんな学校図書館がいいな」をテーマに、思いついたことを次々と付箋に書き出していました。ここで出た意見は、今年度内に策定する『第3次三豊市子ども読書活動推進計画』に反映するとともに、学校図書館の運営や子どもの読書活動の推進に役立てられます。



▶ワークショップでは、「図鑑が借りられる図書館」「司書の仕事を体験したい」などの意見が出ました



▲うみがめ感謝祭では、浦島太郎さんと乙姫大使がウミガメを放流しました



▶Studio Rは「無い舞サンバ」など2曲のダンスを披露

みとよHOT NEWS

デイリー版はっとニュースは市ホームページで [三豊市](#) [検索](#)

友好都市提携50周年を迎えて

7/14 徳島県美波町

友好都市の徳島県美波町で行われた「第55回日和佐うみがめまつり」に、三豊市から山下市長、浦島太郎さん、乙姫大使をはじめとした三豊市訪問団が参加しました。神事のうみがめ感謝祭では、町のシンボルであるウミガメを放流。感謝祭の後のうみがめフェスティバルには、三豊市からダンスチームのStudio Rが出演し、会場を盛り上げました。美波町とは、1968年に旧詫間町と旧日和佐町で友好都市提携を結んで以来、今年で50周年を迎えます。



◀浪打八幡宮参道では、和太鼓集団おとや響屋がオープニングを飾りました



▲Erring Bird Jazz Orchestraによるライブ演奏。お客さんたちは軽快なリズムに乗って、自然と体を揺らしていました

まち音めぐり&瀬戸内シーサイドマルシェ 街中に音楽が響き渡る2日間

6/16、17 マリンウェーブ周辺

和太鼓やジャズ、ギターの弾き語りなど、さまざまなジャンルのアーティストが街中で演奏を披露する「まち音めぐり」が開催されました。お客さんたちは、それぞれの会場をめぐる音楽を聴くとともに、瀬戸内シーサイドマルシェなどでの買い物も楽しみました。



▲「きらきら星」などの童謡を弾き語るあんどさきこさん



▲地元グルメがそろった、瀬戸内シーサイドマルシェも同時開催